

## カゼクサ (風草)

名前の意味<sup>いみ</sup>：葉の中ごろにくびれがあり、そこを風の通り道にたてた。

分類：単子葉類、イネ科、スズメガヤ属

(イネ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生<sup>じせい</sup>)

特徴<sup>くき かぶだち</sup>：茎が株立ちになり、根<sup>は</sup>が張<sup>ぬ</sup>ってなかなか抜けない。紫<sup>むらさき</sup>色の小さな小穂

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁<sup>りべん</sup> (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：8 - 10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：オヒシバは、花序<sup>かじょ</sup>の枝が棒状<sup>ぼうじょう</sup>で、葉が2つ折りになる。  
チカラシバは、穂<sup>ほ</sup>がブラシ状になる

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)